

追悼

## 伊藤清司先生の仕事

飯倉 照平

二〇〇七年六月十六日、伊藤清司先生が亡くなられた。享年八十三歳（『伝え』に七十三歳としたのは誤記）、骨髄異形成症候群という病名であった。七月二十八日に開かれた偲ぶ会で配られたCD-ROM「伊藤清司先生・偲び草」（古代中国研究会制作）には業績目録、中国の団体・知人からの追悼文、テレビ出演（一九八一年）のさいの映像などが収められている。

わたしたちの編集している『中国民話の会通信』八十二号には、その業績目録と追悼文（追加分をふくむ）を活字化して再録し、さらに当日配布の略歴、中国民話の会会員の追悼文、遺稿「炭焼き長者の話・金銀の所在（続）」などを掲載した（ただし慶應義塾大学を定年退職されたさいの記念論文集『中国の歴史と民俗』一九九一年、には、それまでの著書・論文目録がある）、以後の部分のみを掲載した。通信は残部あり）。

多分野にわたる業績の詳細は右の目録にゆずるとして、はじめに一冊の本を紹介したい。一九九七年に雲南大学出版社から中国語で刊行されたためにあまり知られていないが、「伊藤清

司学術論文自选集」という副題が示すとおり著者自身が編集したもので、その仕事の全体像が見渡せる内容となっている。かつて『口承文芸研究』二十二号の新刊紹介欄で、わたしはこの本の日本語版刊行を期待したいと記したこともある。

『中国古代文化と日本』という書名は、慶應大の史学科東洋史学専攻に身を置き、松本信広氏という先達をもった著者の研究分野を、的確にまとめた表現といえる。しかも、つぎにあげる章名（カッコ内は収録論文数）に見られるように、その内容はかなり多岐にわたっている。また同書には、今は亡き鍾敬文氏（当時九十三歳）の懇切な序文もある。

第一編 中国の古代文化と神話（七編）

第二編 中日民間故事比較（七編）

第三編 中国西南地区の神話と習俗（五編）

第四編 神判比較（四編）

第五編 『山海経』研究（七編）

第六編 中日文化交流の橋梁——江南（四編）

ここでは、このうち神話・説話の比較研究にかぎってふれることにしたい。晩年の柳田国男に会ったおりに中国にも絵姿女房譚があると話したことが、比較研究のきっかけになったことは、みずから語っている。その論文を巻頭におく『花咲爺』の源流（一九七八年）につづき、『日本神話と中国神話』（一九七九年）が出て、堅実な文献資料にもとづく未踏の分野についての論文がまとめられた。

この研究をさらに展開させる機縁となったのが、一九八〇年に中国民間文芸研究会の招待で日本口承文芸学会代表团が中国を訪問したことであった（『口承文芸研究』三十号、伊藤「口承文芸の国際比較」参照。ちなみにこの文章は先の目録に掲載されていない）。この時の協議にもとづいて、伊藤先生は一九八二年秋から一年間、北京の中央民族学院に在籍し、少数民族地区などへの調査旅行をおこなった。そのさいの見聞をもとにした『中国民話の旅から——雲貴高原の稲作伝承』（一九八五年）には、はじめて現地を踏んだ感動が紙背にみなぎっている。

これ以後、十数年にわたり毎年のように中国をたずね、各地を跋渉された伊藤先生の成果は、さらに『昔話伝説の系譜——東アジアの比較説話学』（一九九一年）にまとめられ、また『日中比較民俗誌』の副題をもつ『サネモリ起源考』（二〇〇一年）のような、いかにも伊藤先生ならではの論考に結実した。

一九九三年、旧都立大の南大沢校舎で開かれた日本口承文芸学会大会で、わたしは「昔話伝説の比較研究はどこまで可能か——炭焼長者譚を例として」というシンポジウムを企画した。それは伊藤先生たちの先駆的な仕事を認めながらも、比較に適合する資料を恣意的に取り出すのではなく、それらの説話を朝鮮や中国の伝承世界のなかに置いて捉えなおす必要があるのではないかと、さかしらにも考えたからであった。

この問いかけに対する伊藤先生なりの回答とみなすべきものが、二〇〇三年から発表されはじめた「炭焼き長者の話」という、

現在入手可能な日本、中国、朝鮮の資料を網羅的に追跡した考証であった。『中国民話の会通信』に遺稿をふくめて十回、『比較民俗学会会報』に五回、『比較民俗研究』に長篇を一回、相次いで連載であった。これに前後して発表された「ベトナムの炭焼きの話」、「旧仙台領内のカマド神」、「炭焼き長者の話——柳田国男と松本信広」などを合わせて、概算一千枚の論考が、結論部分に達することなく中絶したまま残された。

「書きかけている原稿があるから、まだ死ぬわけにはいかない、副作用は我慢するから治療していただきたい」と伊藤先生が主治医に語っていたことを、奥さまの伊藤貞子さんは記している。その旅立ちには、あの世でも論文を書きついでもらうために、筆記具や原稿用紙とともに『中国民話の会通信』が持たされたという。

（いいくら・しょうへい／中国民話の会）